一般質問

久枝議員

一、志佐小学校通りの溝蓋と掃除について
二、調川川中・上流のイノシシの巣窟排除について

質問

一、志佐小学校通りの少年センターから国道の信号機までの約240メートル間の道路側溝は、現場打ちの構造で、年月の経過とともに土砂が堆積している。地区での除去は困難で、本来の側溝の役割は果たしていない。９月中旬の大雨では側溝の上に水が10センチほど溜まり、小学生は車道を歩いて帰宅し、通学に危険な状態であったそうです。

(1)小学校通りは県道だということですが、土砂の除去について県に要望を強くお願いしたらどうか。

(2)今年度内に除去はできないのか。

二、(1)調川川の暖竹が繁っているところにイノシシが巣を作り、周りの田んぼが被害を受けているという。隠れ家にならないように暖竹伐採の要望を県にしてはどうか。

(2)切っただけではダメで、春になればまた新芽が出てくる。根を粉砕する機械があると聞くがどうか。

(3)切った後に除草剤をまけばいいという声もあるが魚類に影響がある。除草剤を使わない方法で県に要望して頂きたいがどうか。

答弁

一、(1)問題の箇所は、主要地方道佐世保日野松浦線で長崎県田平土木維持管理事務所が維持管理をしています。側溝内の土砂については、現場での堆積を確認しましたので、県に撤去の要望をしてまいります。

(2)県も一定の予算の範囲内で対応しておりますので、今年度中の施行についての確約は頂けませんでしたが、なるだけ早く施行をして頂くよう要望してまいります。

二、(1)上流の松山田、白井の２地区では河川沿いの農地にワイヤーメッシュ柵や電気柵が設置され、猟友会による捕獲対策も適宜実施されています。暖竹がイノシシの隠れ家になっている環境であることから、伐採については河川の管理者である県の田平土木維持管理事務所に要望してまいります。

(2)業者の方で暖竹の根を粉砕できる機械があるということは聞いております。

(3)下流は蛍の生息場所でもあり、県や土地の所有者に対しては、処分の方法も含めてなるだけ後に影響がないようにお願いしてまいります。

一般質問

志水議員

一、福島大橋について
二、伊万里湾の漁業再生について

質問

一、合併以来、大橋の建設について質問してきたが、市長はその対応について「しかるべきときには行動を起こす」、「県の橋梁長寿命化修繕計画の点検で架け替え対象リストに上がるとき」と言われ、また、同計画が策定されたばかりを理由に期成会設置は時期尚早との回答であった。

(1)架け替えリストに載ってから大橋が完成するまでに何年かかると考えているか。また、県は、建設の年数を考慮して危険度を知らせてくれる仕組みになっているのか。

(2)地元で県に対し直接要望活動を行ってはどうかとの動きもあるが、市長はどう考えるか。

二、市の水産振興ビジョンが策定され５年が経過した。漁業を取り巻く環境は当時から大きく変化し、厳しく先が読めない気がする。

(1)ビジョンの見直しは必要ないか。

(2)湾内の水質調査はどのようになっているのか。またその対応はどうか。

(3)鷹島が来年度から離島漁村再生支援の対象外となり、資源の維持増大のための種苗放流事業が心配される。来年度以降の対応はどうか。

答弁

一、(1)大橋は、県管理の橋梁で、重点管理橋梁に位置づけられ、毎年定期点検が実施され、点検結果をもとに補修実施時期等の内容が決定されます。架け替えが必要と判断されれば、道路管理者として速やかに事業化し短期間に完成されると考えます。

(2)地元の声を県に伝えるという一つの機会であると思います。

二、(1)現在の水産振興ビジョンを基本としながら、今後の具体的な施策を漁協等の年次計画、財政状況等を勘案して関係団体と具体的な協議を行い、漁業関係者と市が一体となった水産振興を進めてまいります。

(2)伊万里湾環境保全対策協議会が底質土調査等を実施し、昨年度は硫化物が６地点の内３カ所で基準値を上回る結果でした。本年度は、表層の水質検査を追加し、現在その分析中です。今後も継続して水質の推移を見守りつつ、今後の対応については県水産部に相談しているところです。

(3)松浦市栽培資源管理型漁業推進協議会が行っている放流事業と一体的に実施できるよう新年度予算で対応してまいります。